東和地域住民福祉活動計画

令和６年度～令和１０年度

東和ふくしのまちプラン

全ての人が住み慣れた地域で、自分らしく生き生きと生活していくためには、国や自治体が定めた一律の制度やサービスだけではなく、それぞれの地域の実情にあった住民同士の支え合いの仕組みが必要です。

地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、住みよい地域づくりを行っていくため、地域の福祉課題の解決に向けての目標を掲げ、目標の達成にむけて地域ぐるみの取り組みを推進するための計画です。

策定：東和地区小地域福祉活動計画策定委員会
編集・発行：花巻市社会福祉協議会東和支部
社会福祉法人　花巻市社会福祉協議会
問合せ：花巻市社会福祉協議会東和支部
電話　0198-42-3151　　ＦＡＸ　0198-42-3816

東和地域

『土澤アートクラフトフェア』や『毘沙門まつり全国泣き相撲大会』など県内外から人が集うイベントが行われており、また、美しい棚田や田瀬湖があり、にぎわいのある自然豊かな地域だが、花巻市内においても高い高齢化率の地域となっている。

『私たちの地域を語ろう』から始まりました

花巻市社会福祉協議会東和支部では令和4～5年度にかけて『私たちの地域を語ろう』をテーマに地域福祉懇談会を4回開催しました。

東和地域の住民のみなさんと地域の理想像について意見を出し合い、理想の地域づくりに向けて、今できていること、できていないこと、地域の強みや弱み、福祉課題について意見交換しました。

懇談会で挙げられた住民の声や思いを基に、地域住民が主体的に取り組むための住民福祉活動計画として、3つの目標をまとめました。

【東和地域の特徴ある地域福祉の取り組み】

【小山田地区】
- 地域住民が作ったスーパー「小山田スーパーおっほ」
- 多世代で協力・参加する資源回収などの地域行事
- としな作り・餅つきなどの世代間交流

【土沢地区】
- 徒歩圏内で行けるサロン活動が多い
- 伝承活動（土沢神楽）が盛ん

【成島地区】
- 地域住民による、登下校時の見守り
- 地域農村文化や郷土芸能の子どもたちへの継承・伝承

【浮田地区】
- おせっかいサポーターをコミュニティで実施
  （サポーターが必要だと感じた人の自宅へ足を運び、お手伝いをするしくみ）
- コミュニティ行事の芸術祭

【谷内地区】
- コミュニティ会議だよりによる、地域住民への情報発信
- 自治会活動として、有償ボランティアによる除雪活動などの実施

【田瀬地区】
- 自治会活動として年２回の草刈り
- 老人クラブのボランティア活動

福祉でまちづくりを進めるために聞いた　住民の声や思い

小山田地区	・交通手段がなく、病院や買い物などに行くのが大変 ・地域全体が高齢化しており、見守り体制に不安がある ・隣近所の交流がなくなった
土沢地区	・近隣とのつながりが薄れている ・地域の集まりに参加する人が少なくなった ・除雪や買い物など、高齢になったら大変になる
成島地区	・地域内での交流の機会が少なくなったことで、住民同士のつながりの機会が減った ・高齢者だけの世帯が多くなっていて、高齢者の孤立が心配 ・子育ての困りごとを誰に相談すればいいか分からない、また、困っているような人がいても声をかけにくい
浮田地区	・近所の人たちが集まってお茶会を出来る場所がない ・集会や行事にいつも同じ人しか出てこない ・高齢者世帯が増加しており、若い世代がいないため、次世代のリーダーが育たない
谷内地区	・地域で頼れる人が一極集中してしまっている ・青年会組織が、コロナ禍の影響も受けて活動できていない ・個人情報保護が弊害となり、地域の困り事を把握しづらくなっている
田瀬地区	・高齢者のひとり暮らし世帯が増えており、生活が大変そう ・支え手側の高齢化により支え合いが難しくなっている ・多世代や移住者との交流が少ない

５年後こんな東和地域になっているといいな！！

小山田地区	・互いに助け合い、安心して暮らせる地域 ・多世代が一緒に集まれる場所がある地域 ・年齢を問わずに協力し、安心して暮らせる地域
土沢地区	・子どもたちの声が響く地域 ・気軽に集まれる場所があり、交流を図れる地域 ・みんなが安心して暮らせる地域
成島地区	・世代間交流ができる地域 ・困った時にはお互いに声を掛け合い、助け合える地域 ・子どもたちが安心して遊びやスポーツに取り組める地域
浮田地区	・高齢になっても住みよい地域 ・地域活動への参加で交流ができる地域 ・世代間で何でも話すことができる地域
谷内地区	・若い人が楽しいことを企画・活動し、世代間交流が活発な地域 ・地域づくりについて真剣に語り合える地域 ・困っている高齢者の生活支援ボランティアの活動が盛んな地域
田瀬地区	・高齢のひとり暮らしでも安心して暮らせる地域 ・山や花、湖など美しい環境に囲まれた地域 ・若者が住みたいと思える地域

住民の声や思いをもとに考えた

地域の福祉を良くする３つの目標

【小山田地区】

高齢者に寄り添い、安心できる地域を目指そう

〇住民同士での見守り、支え合いの理解を深めよう
〇日中独居や高齢世帯に対して、見守り活動や支え合いの方法を考えよう
〇「散歩しながら」「野菜などのお裾分けに行きながら」という、ながら見守りであいさつや声掛け程度のさりげない見守り活動をしよう

つながりを絶やさず、みんなが楽しい地域を目指そう

〇高齢者と子育て世代のつながりの場をつくろう
〇サロンに子どもたちを呼ぶ、保育園の行事に地域住民が参加するなど、世代間交流の機会をつくろう
〇伝統芸能を絶やさないよう、魅力の発信と技術を継承していこう

地域の人材を発掘して小山田を発展させよう

〇移動スーパーの実現に向けた話し合いの場をつくろう
（おっほから広がる地域支援の輪と人材の確保）
〇スーパーおっほや小山田振興センター・コミュニティ会議など、地域の拠点となる場の情報発信をしよう
〇年齢に関係なく、みんなが活躍できる地域にしよう

【土沢地区】

にぎわいと交流のある土沢地域にしよう

〇土沢地域全体の運動会や盆踊りなど、地域で交流する機会をつくろう
〇地域のイベントに地域住民が積極的に参加しよう
〇地域行事を多世代で盛り上げよう

地域資源（既存の施設）を活用した街づくりをしよう

〇子どもから高齢者までの居場所をつくろう（『子ども未来館』など休眠施設の活用）
〇男性高齢者の交流と居場所づくりをしよう（公民館の居酒「家」化など）
〇いつでも気軽に利用できる場所をつくろう

子どもから高齢者までが安心して暮らせる地域にしよう

〇普段から地域住民同士の顔が見える関係づくりをしよう
〇地域の身近な相談できる人をつくろう（民生委員の役割、地域包括支援センターの周知）
〇地域の高齢者にスクールガードなどの協力をしてもらい、見守りと交流の機会をつくろう
〇隣近所で助け合い、支え合おう

【成島地区】

地域の歴史・文化を知り、世代を超えて文化やスポーツで交流する地域づくりをしよう

〇地域の偉人を知る機会をつくり、地域愛を育もう
〇性別・世代を超えて誰でも参加できるスポーツの機会を企画し、交流のきっかけをつくろう
〇地域、自然、農業に親しむための「農地、水」の事業を活用し、学習による交流の機会をつくろう

生涯現役で、それぞれが個々の能力を発揮し、家族や地域に貢献できる地域づくりをしよう

〇サロンの内容をみんなで考え、みんなが参加（特に男性参加）したくなるように工夫しよう
〇ひとり暮らしの人や、体調に不安がある人を特に気にかけ、安否の声掛けや見守りを連携して行おう
〇民生委員児童委員の役割を地域で理解して、引継ぎがスムーズにできるよう民生委員の後方支援などを検討しよう

地域ぐるみで子育て世代をフォローできる地域にしよう

〇高齢者と子どもたちが触れ合う催し物（保育園や学校と、行事を通じて交流）を行おう
〇子どもの「見守りの目（スクールガード等）」を多くしよう
〇子ども会行事を地域ぐるみで行おう

【浮田地区】

だれでも住み続けられる地域にしよう

〇おせっかいサポーターを継続するとともに、サポーターの育成を図ろう
〇結いの精神を引き継げるよう、普段からの関係性を構築しよう
〇コミュニティで学んだことなどを地域に発信しよう

老いも若きも明るくあいさつがうきうき交わせる地域にしよう

〇散歩を通じたあいさつで関わりをつくろう
〇お茶会や飲み会による関わりをつくろう
〇隣近所の交流や声掛けをして、お互いに見守りあおう

子どもと大人が一緒に輝く地域にしよう

〇休耕田を活用した収穫体験など、多世代の交流をしよう
〇コミュニティ会議との連携による交流の機会をつくろう
〇短時間での地域行事など、今まで参加していなかった人も参加しやすくなる行事をしよう
〇地域の行事（コミュニティなど）に参加した人から裾野を広げていき、次世代へ役割をつないでいこう

【谷内地区】

ゆる～く　若者が魅力を感じ、住みたいと思う地域にしよう

〇若者の声を聞く機会をつくり、若者の考えを知ろう
〇若者がイベントを企画しやすいような体制をつくろう（支援体制を整えよう）
〇地域人材を活用し、SNSなど時代に合った情報発信をしよう

ゆる～く　世代がごちゃ混ぜに活動できる地域にしよう

〇地域のみんなで地域づくりについて話し合う機会をつくろう
〇郷土芸能発表会などの既存の事業に若い世代の意見も取り入れ、世代間交流事業を実施しよう
〇子どもが集まる地域行事をしよう

ゆる～く　お年寄りが安心して暮らせる地域にしよう

〇除雪支援を通して、高齢者の見守りを強化しよう
〇見守りステッカーをつくって掲示し、地域で見守りを行おう
〇地域で見守りをしているアピールをして、訪問販売などの被害抑止につなげよう
〇高齢者に合わせた内容（ゴミの分別など）の勉強会を企画し、高齢者の自立を支援しよう

【田瀬地区】

高齢になっても安心して住み続けられる地域にしよう

〇高齢者への地産地消のお弁当配布を通して見守り訪問をしよう
〇隣近所で草刈りなどの生活の手伝いをしながら交流しよう
〇それぞれが出来ることをやってフレイル予防しよう

環境整備して地域の魅力を発信しよう

〇自然景観や空き家など地域資源の魅力を発信しよう
〇草刈りや木の伐採などの景観維持を継続しながら、若い世代と交流し、次世代を育成しよう
〇世代間や移住者との関係性をつくれるよう交流の機会をつくろう

みんながイキイキして暮らせる地域にしよう

〇地区行事を活発にした交流の場を活性化させよう
〇隣近所や世代間の交流の場を増やし、見守り支え合いを増やそう
〇住民皆が地域づくりに参加していこう

【東和地域の年齢層別人口及び世帯等の状況について】

	人口	年少人口 (0~14 歳)	生産人口 (15~64 歳)	高齢人口 (65 歳以上)	行政区数	世帯数	一人暮らし 高齢者 世帯数	高齢者 のみ 世帯数
東和 地域	7,595 人 男 3,663 人 女 3,932 人	644 人 (8.5%)	3,599 人 (47.4%)	3,352 人 (44.1%)	25 行政区	3,017 世帯	676 世帯	469 世帯
小山田 地区	1,277 人 男 639 人 女 638 人	116 人 (9.1%)	590 人 (46.2%)	571 人 (44.7%)	4 行政区	464 世帯	85 世帯	81 世帯
土沢 地区	2,400 人 男 1,132 人 女 1,268 人	245 人 (10.2%)	1,235 人 (51.5%)	920 人 (38.3%)	6 行政区	1,009 世帯	218 世帯	129 世帯
成島 地区	994 人 男 468 人 女 526 人	91 人 (9.2%)	484 人 (48.7%)	419 人 (42.2%)	4 行政区	372 世帯	74 世帯	54 世帯
浮田 地区	772 人 男 381 人 女 391 人	48 人 (6.2%)	374 人 (48.4%)	350 人 (45.3%)	3 行政区	284 世帯	50 世帯	45 世帯
谷内 地区	1,755 人 男 855 人 女 900 人	122 人 (7.0%)	754 人 (43.0%)	879 人 (50.1%)	5 行政区	717 世帯	197 世帯	130 世帯
田瀬 地区	397 人 男 188 人 女 209 人	22 人 (5.5%)	162 人 (40.8%)	213 人 (53.7%)	3 行政区	171 世帯	52 世帯	30 世帯

資料:花巻市 年齢別人口集計表(令和 5 年 9 月末)、花巻市 老人人口集計(令和 5 年 9 月末)

【東和地域の社会資源等の状況について】

	コミュニティ会議数	民生委員 児童委員 協議会数	民生委員 児童委員 数	主任児童 委員数	ふれあい サロン数	医療機関 数	教育機関・ 学校数	社会福祉 施設数
東和地域	6	1	25	2	22	5	幼・保 5 小学校 1 学童ｸﾗﾌﾞ 1 中学校 1	高齢 7 障がい 4
小山田地区	1	1	25		3			
土沢地区	1				6			
成島地区	1				4			
浮田地区	1				1			
谷内地区	1				7			
田瀬地区	1				1			

資料:東北厚生局 医療機関一覧表(令和 5 年 11 月 1 日)、花巻市 障がい福祉ガイドブック 2023

地域福祉活動計画

「地域福祉活動計画」は、花巻市に暮らす高齢者や障がい者、子どもをはじめ、すべての住民が支え合い、安心して暮らし続けることができる「福祉のまちづくり」を進めるための計画です。

「住民福祉活動計画」「地域福祉推進計画」「基盤強化計画」の３つの計画で構成しています。

住民福祉活動計画	住民がすすめる福祉のまちづくりの目標であり、活動していくための計画。市内１０地区でそれぞれに福祉活動やまちづくりに携わる住民の皆さんと策定し、住民の「こんな地域にしたい」という思いや、「地域らしさ」を形にしたもの。
地域福祉推進計画	花巻市社会福祉協議会が住民や様々な団体・関係機関とともに、市域で地域福祉活動を推進していくための計画。
基 盤 強 化 計 画	地域福祉を推進するために必要な、花巻市社会福祉協議会の組織や体制のあり方を示し、その基盤の強化を進めるための計画。

花巻市社会福祉協議会東和支部

花巻市社会福祉協議会では地域福祉の推進単位として花巻市を１０の地区に分け、その各地区に社協支部を設置しています。

【東和支部運営委員の選出団体】

明日の小山田を考える会、土沢地域づくり会議
成島地区コミュニティ会議、浮田地区コミュニティ会議、
東和東部地区コミュニティ会議、田瀬地域コミュニティ会議、
東和地域区長会、東和地区民生委員児童委員協議会、
花巻市身体障害者福祉協会東和支部、花巻市立東和小学校、学識経験者

【東和支部の主な活動状況】

・高齢者福祉活動（ふれあい交流会、いろりの会（バスハイク）等）
・地域福祉活動（ふれあいいきいきサロン助成、地域福祉懇談会、赤い羽根共同募金運動等）
・児童福祉活動（児童支援事業、世代間交流事業等）
・障がい者福祉活動（キャップハンディ体験事業等）　　等々

ふれあい交流会

児童支援事業(ミニ映画会)

地域福祉懇談会